

予算決算委員会第4回定例会（全体会） 会議録

日 時 令和2年12月9日（水曜日）

午後2時46分開会，午後3時13分閉会

場 所 第1委員会室

日 程

1 開 会

2 議長あいさつ

3 審査内容

議案第72号 令和2年度土浦市一般会計補正予算（第11回）～第1表歳入歳出予算中歳入，第4表地方債補正

4 閉 会

出席委員（22名）

委員長 吉田 千鶴子

副委員長 海老原 一郎

委 員 久松 猛

委 員 内田 卓男

委 員 福田 一夫

委 員 柏村 忠志

委 員 寺内 充

委 員 吉田 博史

委 員 矢口 清

委 員 柳澤 明

委 員 篠塚 昌毅

委 員 小坂 博

委 員 平石 勝司

委 員 下村 壽郎

委 員 今野 貴子

委 員 島岡 宏明

委 員 塚原 圭二

委 員 勝田 達也

委 員 矢口 勝雄

委 員 目黒 英一

委 員 奥谷 崇

委 員 田子 優奈

欠席委員（２名）

委 員 柴原 伊一郎

委 員 鈴木 一彦

説明のため出席した者（１４名）

副市長 東 郷 和 男

副市長 栗 原 正 夫

市長公室長 川 村 正 明

市民生活部長 塚 本 隆 行

保健福祉部長 塚 本 哲 生

教育部長 羽 生 元 幸

政策企画課長 佐々木 啓

財政課長 山 口 正 通

広報広聴課長 北 島 康 雄

市民活動課長 五 来 顕

社会福祉課長 平 井 康 裕

健康増進課長 羽 成 信 明

教育総務課長 藤 井 徹

指導課長 中 山 弘

事務局職員出席

局 長 小松澤 文 雄

次 長 天 貝 健 一

係 長 小 野 聡

主 査 寺 嶋 克 己

主 任 松 本 裕 司

傍聴者（０名）

○吉田（千）委員長 只今から、第4回定例会予算決算委員会を開会いたします。本日は、定例会において、当予算決算委員会へ付託されました議案第72号令和2年度土浦市一般会計補正予算（第11回）の内、歳入についての審議をしていただきます。それでは、これから歳入の審査に入ります。マイクの使用をお願いします。それでは、議案第72号令和2年度土浦市一般会計補正予算（第11回）を議題といたします。歳入について、執行部より説明願います。15款使用料及び手数料、16款国庫支出金、17款県支出金、19款寄付金、20款繰入金、22諸収入、23款市債及び第4表地方債補正を執行部より説明願います。

○山口財政課長 あらためまして、おはようございます。私の方からは、今回の補正予算の歳入及び地方債補正について説明をさせていただきます。議案書の方お持ちでしょうか。議案書の44ページをお願いしたいと思います。まず、第1表歳入歳出予算補正の歳入でございます。新型コロナウイルス感染症対策など、当初予算に見込めなかった事業費等の財源として、国・県支出金、寄付金、繰入金等を充当するもので、総額で17億3,699万9,000円を増額計上するものでございます。内容につきましては52ページをお願いいたします。15款使用料及び手数料1項使用料8目教育使用料につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、水郷プールの一般営業を中止したことに伴いまして、当初予算で見込んでいた使用料収入を全額、減額計上するものでございます。続きまして、16款国庫支出金2項国庫補助金につきましては、備考欄にもございますように、公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備費補助金でございまして、こちらは、7月の臨時会で補正計上させていただきました、児童生徒1人に1台のタブレット端末を配備いたしますGIGAスクール構想推進事業におきまして、国庫補助金を小学校分とその下の中学校分について、事業費に応じて配分額を振り替える更生を行うものでございます。続きまして、16款国庫支出金4項国庫交付金1目総務費国庫交付金につきましては、2項目ございます。1つ目の事務管理費の臨時交付金につきましては、リモート会議を行うためのタブレット端末導入費用について、地方創生臨時交付金の対象事業として実施計画書に記載されておりましたが、予算上充当していなかったことから、財源更正を行いまして、臨時交付金を計上するものでございます。2つ目の広報広聴費の臨時交付金につきましては、2つの内容が含まれておりまして、広報紙の号外として発行した感染症に関するお知らせについても、臨時交付金の実施計画書上見込んでおりましたが、予算上未充当だったことから臨時交付金の計上、及び9月定例会で補正計上いたしましたテレワーク移住体験ツアー事業に対し、県の補助が採択されたことに伴い、充当予定であった臨時交付金の減額。この2つの財源更生による臨時交付金の減額計上でございます。ここでは、広報紙の増額分よりもテレワーク移住体験ツアーの減額分が大きいことによりまして、減額計上となっているところでございます。2目民生費国庫交付金につきましては、2項目。1つ目の地域少子化対策重点推進交付金につきましては、結婚新生活に伴う引越し費用及び敷金・礼金等の賃貸初期費用を補助する結婚新生活支援事業の増額補正に対し、歳入には2分の1の国の補助があることから、国庫交付金を増額計上するものでございます。2つ目の私立

保育園費の臨時交付金につきましては、国の慰労金の支給対象外となった保育施設の職員に対し、本市独自にプレミアム付商品券、1人2冊分。3万円相当を配布するための費用の財源として、臨時交付金を計上するものでございます。3目衛生費国庫交付金1節保健衛生費交付金につきましては、各公共施設における感染症対策として、マスク、消毒液、サーキュレーター、パーテーション等の消耗品や空気清浄機等の備品購入、及び保健センターにWi-Fiを導入するための費用の財源として、臨時交付金を計上するものです。2節環境衛生費交付金につきましては、ごみの排出に係る費用負担の軽減を図るため、市内約6万7,500世帯に可燃ごみ袋、不燃ごみ袋を無料配布するための費用の財源として、臨時交付金を計上するものでございます。7目教育費国庫交付金1節中学校費交付金につきましては、3項目。1つ目の大規模改造工事費交付金につきましては、2つの事業に対しまして、文部科学省から前倒しでの追加の内定があったことから、その財源として国庫交付金を計上するものです。まず、各中学校の理科室などの教科別特別教室にエアコンを設置するための工事費等に対し、また、都和中学校の校舎、体育館等のトイレを洋式化するするための工事費等に対し、歳入には、いずれも配分基礎額の3分の1の国の補助があることから大規模改造工事費交付金を計上するものでございます。53ページにまいりまして、2つ目の学校管理費の臨時交付金につきましては、やはり、2つの内容が含まれております。まず、先ほどお話をいたしました各中学校の教科別特別教室へのエアコン設置について、大規模改造工事費交付金の交付対象となる配分基礎額を超える部分の事業費に対しまして、臨時交付金を充当。次に、GIGAスクール構想推進事業において、臨時交付金を対象外の事業費にも充当していたことから財源更生による臨時交付金の減額。この2つを合わせまして、記載の金額の増額計上となるものでございます。その下の学校建設費の臨時交付金につきましては、先ほどお話をいたしました都和中トイレの洋式化に伴い、大規模改造工事費交付金の交付対象となる配分基礎額を超える事業費に対し、臨時交付金を充当するものでございます。3節小学校費交付金につきましては、中学校費で説明いたしました事業内容の小学校分です。1つ目の学校管理費の臨時交付金につきましては、中学校同様、各小学校の教科別特別教室へのエアコン設置に対し、大規模改造工事費交付金の配分基礎額を超過する事業費への臨時交付金の充当。小学校分のGIGAスクール構想推進事業の財源更生による臨時交付金の減額。2つ合わせての臨時交付金の増額計上でございます。2つ目の大規模改造工事費交付金につきましては、文部科学省から前倒しでの追加の内定のありました各小学校の教科別特別教室へのエアコン設置のための工事費等及び神立小、都和小、乙戸小学校のトイレの洋式化のための工事費等に対し、いずれも配分基礎額の3分の1の国の補助があることから、大規模改造工事費交付金を計上するものでございます。3つ目の学校建設費の臨時交付金につきましては、神立、都和、乙戸小トイレの洋式化に伴い、大規模改造工事費交付金の配分基礎額超過事業費に臨時交付金を充当するものでございます。続きまして、17款県支出金1項県負担金1目民生費県負担金につきましては、身元不明や埋火葬を行うものがない場合、市町村が代わりに火葬、埋葬を執り行う行旅病死亡人取扱事業の増額補正について、10分の10県負担と

なっていることから、財源として県負担金を計上するものです。続きまして、17款県支出金 2項県補助金1目総務費県補助金につきましては、臨時交付金のところでお話いたしましたテレワーク移住体験ツアー事業が県の補助採択を受けたことから、臨時交付金から県補助金への財源更生に伴う計上でございます。2目民生費県補助金につきましては、在宅医療サービスの基盤整備の充実を図るため、事業を拡大しようとする事業者への整備費用に対する補助金について、県から3分の2の補助があることから財源として県補助金を計上するものでございます。54ページをお願いいたします。続きまして、17款県支出金3項県委託金6目教育費県委託金につきましては、県の事業ともなっている夏休みの補充学習「学びの広場」において、今年度は学習をサポートする大学生等のサポーターを活用しなかったことから、歳出において不用額を減額補正することに伴いまして、財源についても県委託金を減額計上するものです。続きまして、19款寄付金1項寄付金1目ふるさと土浦応援寄付金につきましては、当初見込みより寄付の大幅な増加に伴う増額計上。4目衛生費寄付金につきましては、感染症対策として個人及び団体から頂いた寄付金4件分の計上。続きまして、20款繰入金2項基金繰入金5目財政調整基金繰入金につきましては、歳出が歳入を上回っておりますことから収支不足を補填するための財政調整基金からの繰入金の計上。6目土地開発公社対策基金繰入金につきましては、土地開発公社の解散による公社対策基金の廃止に伴います同基金からの繰入金の計上。22款諸収入5項雑入1目雑入につきましては、4項目ございます。1つ目のコミュニティ事業助成は、宝くじ助成金を活用して町内会のコミュニティ活動に助成する事業において、臨時の追加募集があったことに伴う補助金の増額補正に対して、10分の10自治総合センターから補助があることから雑入として計上するものでございます。2つ目は、感染症拡大の影響で中学生の宿泊体験学習が中止となったことに伴い、生徒、教職員が負担する食費等の減額計上。3つ目は、休日緊急診療所の感染症対策として、県から国保連を通じて1診療所あたり100万円を上限として補助があることから雑入として計上。4つ目は、土地開発公社の解散に伴い、事業資金の残余を計上するものでございます。55ページをお願いいたします。23款市債1項市債5目教育費債につきましては、小中学校の空調機器整備事業費、こちらエアコンの設置です。及び大規模改造事業費、トイレの改修の計上、並びにGIGAスクール構想推進事業費の財源更生に伴いまして、各学校施設整備事業費債を計上するものでございます。歳入は以上でございます。続きまして、49ページにお戻りいただいて、第4表地方債補正でございます。先ほど申し上げました小中学校のエアコン設置、トイレ改修、GIGAスクール構想の3つの事業に伴いまして、各学校施設整備事業費債の発行限度額を増額するもので、全体では補正後の予算額計にありますように43億670万7,000円とするものでございます。本定例会に議案として提出いたしました歳入予算補正、地方債補正の説明につきましては、以上でございます。

○吉田（千）委員長 それでは、ご質問ございますか。

○吉田（博）委員 財政課長ね、53ページの教育費の国庫交付金。大型の大規模改造ね。訂正させてもらいますよ。さっきは財政課長は、小学校の部門で神立小、都和小、

乙戸小といったけれども、これは都和小じゃなくて都和南小なんだわ。訂正させていただきます。

○山口財政課長 申し訳ありませんでした。

○吉田（博）委員 それと、54ページ。ふるさと土浦応援寄付金。わたしの記憶でいうと、この予算計上は過去最高だと思うんですが、総額で8億4,000万というような数字。これも私初めての数字なんですけれども、補正で5億4,000。この12月あたりが一番ピークになるんだけれども、どういうことが考えられますか。市としてはこの増えたというのをどういうふうに分析しているのかなというのをちょっと聞きたいなと思ひまして。

○佐々木政策企画課長 今回5億4,000万を補正の方をさせていただきたいということでございますが、今ふるさと納税の今年度の寄付の状況でございますが、4月から7月まではですね、やっぱりこのコロナの影響もありましてか、減少傾向にありました。ただ、1割弱の減少傾向にありました。ただ、8月からですね9月。8月は6割増し。前年度同月比で6割増しと。9月から10月、11月。この3カ月はですね。倍以上の寄付が集まっているような状況でございます。8カ月間のトータルでございますが、前年同月比の。前年の8カ月と比較しますと7割増しになります。2億6,000万と。今現在集まっているところでございます。昨年度の状況でございますが、12月はですね4億2,000万の半分が集まっていると。単純に考えても3億から4億は集まるんじゃないかということで、今回こういう計上をさせていただきました。今ご質問でどういった要因なのかといったのがあったかと思いますが、実はですね、このふるさと納税の返礼品の状況を確認いたしますと、8割強がですね、佐藤畜産さんのお肉でございます。佐藤畜産さんのお肉がですね、とにかく8割強を占めていると、佐藤畜産さんにつきましては、当初ですね1番最初に返礼品が始まったところに金額に対して量が多いということでですね、サイトの中でもかなり取り上げられたということで、それからずっと土浦市のふるさと納税の8割、9割を占めているというような状況でございます。それに、巣ごもり等々、家で食事をする機会が多くなったとか、そういう影響です。今年度伸びているのではないかなというふうに思っているところであります。以上であります。

○久松委員 特別教室へのエアコン設置の状況なんですが、小中学校の理科室へのエアコン設置だということでしたよね。設置個所数と、それから、そのことによって特別教室全体の中での設置割合についてお示してください。

○藤井教育総務課長 設置数ということですが、特別教室。理科室や音楽室等ございますが、未設置の部屋104室に設置する予定であります。今現在の特別教室のエアコンの設置率ですが51.6パーセントとなっております。この設置によりまして81.7パーセントになる予定であります。以上でございます。

○久松委員 そうすると残りもかなり設置率も飛躍的に高まるんで非常に結構だと思うんですが、残りはどういうところですか。特別教室は。

○藤井教育総務課長 残っているところとしましては、学習室でありますとか。

○久松委員 うん。

○藤井教育総務課長 学習室という名前の特別活動室と呼んでいるところですね。とか、生徒会室または相談室等がございます。残りは63室でございます。

○久松委員 63室については、今後の考え方はどうなんですか。

○藤井教育総務課長 今後ともですね、設置に向けて予算を付けていきたいと考えております。

○久松委員 ありがとうございます。もう一つ。同じような考え方で、トイレの洋式化についてですが、今回都和南小、乙戸小、神立小ということで、この洋式化の個所数と小中学校全体の中での洋式トイレの割合。これが終わってからのね。どのくらいになりますか。

○藤井教育総務課長 現在の小中学校のトイレの洋式化率ですが67パーセントでございます。今回神立小、都和南小、乙戸小また都和中学校に設置するわけですが、181カ所を設置する予定であります。これによりまして、全体では洋式化率79.8パーセントになる予定であります。

○久松委員 これ100パーセント目指すつもりですか。

○藤井教育総務課長 今後とも予算獲得に向けて進めて行きたいと考えております。

○勝田委員 先ほど吉田（博）委員がおっしゃいましたふるさと納税が非常に伸びたということで、これ非常にすばらしいことだと思っておりますが、今後の歳入の減少の危惧を考えますとこのふるさと納税というのは収入アップに非常に有効な手段だというふうに感じています。そこで確かに市単独で当初の予算よりは、だいぶ伸びたということはわかったんですが、類似団体ですとか県内のほかの団体では、さらにそれを上回る収入を得ているところも多いはずなんですが、この辺りの考えはどうでしょうかというのを参考までに聞かせていただきたいというのが1点目でございます。

○佐々木政策企画課長 今ご質問がございました。県内でですね見ますと確かにこの金額というのはですね、境町ですとかそういうところはかなり桁が違うところがございます。ただ一方で昨年から国の方で、このルール決めが決まりまして、要はあまりにも過度な返礼品合戦が始まったということで国の方でふるさと納税ですね、その寄付額、返礼品を寄付額の3割にするですとか、地場産品にするですとか、そういう縛りが出来ました。その中で我々としては何とか新規の返礼品ですか、新たに追加しているところがございます。今回も歳出の方で若干計上させていただきましたが、BEB5の宿泊券ですとか、そういったですねものも何とかBEB5さんの方に了解をいただきまして、追加しているところがございます。何とかこの市の特色ある返礼品というのをですね、これからも増やしてですね、土浦市ならではのですね、このふるさと納税の増、そういったのを目指していければと考えております。

○勝田委員 ありがとうございます。努力されているのがわかりました。ぜひその数値目標を予算案に反映できるようにさらになんか頑張ってくださいと思います。もう1つは、学校の水道、蛇口というんですかね。蛇口からコロナにうつってしまうというようなことが指摘されているということもあると。蛇口ですか、蛇口のレバーというか。回

すところですね。それをなるべく触れないような形で、レバー式になったらいいんじゃないかなとか、いろいろご意見があったかと思うんですけど、洋式化、エアコンはなかったんですけども。その蛇口に関しては対策はあったんでしょうかね。

○**藤井教育総務課長** 国からの交付金等を使ってですね、各学校の判断に任せてやっているところがございます。それで蛇口等をですね交換しているところもあるんですが、土浦市全体としましては、少しずつでも交換できるように予算を獲得していきたいと考えております。

○**内田委員** 2つ質問なんだけれど。先ほど洋式トイレのお話がありました。先だってテレビを見ていたところ、いわゆる飛沫感染というのが第1次的に警戒する話になっておりますが、トイレの感染が大変多いと。なんだっけ。何とかプリンセス号のあれでもトイレのあれが非常に多かったという話がでていまして、要するにおしっこは感染しなくて、大便から感染するというのが非常にそれを語っております。なぜかっていうと、その水洗トイレの問題は、流した時の飛沫。それが問題だということで、この洋式化が話していると思うんです。ただ、それだけでは設置すれば済むことじゃなくて、運用上、蓋をして流すということが一番大事なんで、運用面で学校の方で十分その点。ただトイレを作ればいいと、そうすれば解決するんだということじゃなくて、蓋をして流すというその生活様式を子どもに徹底させるということが一番大事なことなんじゃないかということをお願いしておきます。それと2つ目ですが、水郷体育館なんですけど、いわゆる国体で相撲をやりましたね。その前の1、2年前であそこへ何とかエアコンを設置してくれないかということで。そういういろんな運動はしたようです。現市長も県会議員の時に動いたという話もありましたけれど、現実には出来なかったと。それでこの話なんですけど、実は、私びっくりしたのは、最近の新聞等で県立高校の体育館がエアコン設置ということに動きがでました。ただし、電気代は保護者が払うみたいな、面白いことやってるなというような感じを受けたんですけど、要するに体育館にエアコンという考え方。今、小中学校にはそういう議論がされていない。ただ、高校はそういう現実な話になってきているという、この当然コロナ禍中ということでの問題だと思うんですが。市として、県に対して、そのエアコン。あれ県立だよ、水郷体育館はね。これはやっぱり要求していく必要性を私は絶対感じるんですが、その点どなたかお答えいただければ。

○**羽生教育部長** 今、水郷体育館のエアコンの話でございました。こちらにつきましては、県の方にこれまでも予算要求をお願いしてきたところで、県の方でも予算化、動いております。水郷体育館につきましては、今年度、今現在なんですけども、文化棟につきまして、会議室等ですね。あちらにつきまして、今工事を令和2年10月1日から工事を行っております。並びに大体育室につきましては、今、県の予定で令和3年12月から、大体育室の空調設備新設工事をやりたいということで、県の方でも来年の予算にこちらを今要求していると。決定は3月の県議会の方になるかと思っておりますけれども、そういう準備をしているということで。令和3年の12月から令和4年にかけてですね大体育室を工事をしたいということでお話を伺っております。小体育室はそのあと令和

5年度という形で今県の方でスケジュールを組んでいるということで伺っております。

○内田委員 トイレの蓋については。

○羽生教育部長 トイレの使い方ということになってくるかと思imasので、再度、教育委員会の方からですね、学校の方に、そういった使い方についても、指導といいますか。子どもたちに教えることができればということで周知していきたいと考えてございます。

○柏村委員 53ページの先ほど久松委員が質問されておりますが、小学校と中学校。これは小学校ですけれどね。中学校の小中の現在の個数とパーセントですね。それから100パーセントになるのかどうか予算の関係でわかりませんが。仮に100パーセントにした場合は、中学校、小学校どのくらいまでいくのでしょうか。これが1つと。2つ。53のですね、17款ですね。これ私読めないんですけど旅何とか旅、死亡人取扱い負担金。いわゆる無縁仏。これは私の近くの国分町にあるんですね。その他わかりませんが、国分町に散歩の時にいつも見ているんですが。無縁仏が増加しているというのは、このコロナ以降どのくらいの数になるのでしょうか。教えていただきたいと思imas。以上です。

○藤井教育総務課長 すいません。質問がよく聞き取れなかったので、もう1度お願いいたします。

○柏村委員 もう1度。小学校の洋式トイレですね。

○吉田（千）委員長 先ほど、久松委員が質問した以外のところ。

○柏村委員 以外に追加で、中学校も今のような計算ですと、どのくらいのパーセントと金額になるのか。というのが追加で。さらに次の17款の県支出金ですね。いわゆる、俗にいう無縁仏というのは、コロナ以降どのくらい増えているのでしょうか。というのが2つです。以上です。

○藤井教育総務課長 先ほどの回答です、小中学校合わせてということでお答えをさせていただいております、エアコンの方が104室でございます。あとトイレの方ですが181と先ほどお話をさせていただいております。

○柏村委員 ここは小学校費の交付金だから、これは今教えてもらったからわかったんだけれども。中学校はどうなんだろうという関連の質問になったんです。関連じゃない。

○藤井教育総務課長 小中学校合計でございます。

○内田委員 合計じゃなくて、それぞれの中身を教えろっていったんっぺよ。

○柳澤委員 中学校だけ聞きたいんだろ。はっきり言ってやれよ。

○柏村委員 まあ。落ち着け。

○藤井教育総務課長 すいません。それぞれはちょっと、今出しておりませんので、後日回答ということでお願いをしたいと思います。

○吉田（千）委員長 あとでお願いしたいと思います。もう1つ。

○平井社会福祉課長 柏村委員さんからの県支出金の県負担金。こちら行旅病死亡人でございます。現在、国分霊園内に最大約160体の遺骨の安置が可能でございます。今

年度におきましては、現在9月末でございますけれども、引き取り手のない死亡人の方が13人いらっしゃったということで、13名の遺骨の方を安置しているというところでございます。

○**柏村委員** はい。ありがとうございます。コロナ以降といったんですね。

○**内田委員** 増えているのか、減っているのか、答えたらいいっぺよ。

○**平井社会福祉課長** 例年よりですね、今年に関しては、月2人ペースということで、昨年と比較して非常に多くなっているというところでございます。

○**奥谷委員** 54ページの諸収入の中を教えてくださいんですけども、雑入で1つ目のコミュニティ事業助成金の増。先ほど宝くじの助成金だということでしたが、こちらの助成金の使用の目的と。あと今年度これまでの助成金、いくらあったのかというのをちょっと教えてくださいませんか。

○**山口財政課長** 今回の補正分250万円につきましては、まりやま新町の自治会で自治会向けの放送用設備の購入にしたいという内容でございます。それから令和2年度につきましては、これまで中村南1丁目、こちらは山車の修繕や太鼓の購入。それから木田余で神輿の購入といったことで予算化の方がされているところでございます。

○**奥谷委員** じゃあ、これは助成金が出て、一律でそれぞれの自治会に配分されるわけではなくて、手を上げてもらったところに対して助成をされるという考え方でよろしいんでしょうか。

○**五来市民活動課長** コミュニティ助成につきましては、宝くじの利益還元。広報事業の一環としてやっているもので、毎年2町内申請をしております。その内、1町内若しくは2町内が採択をされて、お祭りの用具であるとか。あとは公民館の備品であるとか、そういったものを購入、整備をしているものでございます。10分の10が市の方に入りまして、それを補助しているものでございます。

○**勝田委員** たびたび申し訳ありません。54ページ、55ページなんですが、まず54ページの諸収入の中で、22番諸収入の宿泊体験学習一部負担金の減とありますが、ちょっと内容をもう少し教えてくださいというのが1点目で。2点目が55ページの市債で教育関係債ということで、起債をされるわけでございますけれども、この額を見まして、あと49ページですね、補正の中で43億の起債ということになってはいますが、全体で教育施設関係では、限度というか、どのくらいまで起債がされる、まあ、容量というか、限度があるのかというあたりを教えてくださいと思います。

○**中山指導課長** まず、1つ目の宿泊体験学習一部負担金の減についてご説明いたします。こちらは7年生。中学1年生が毎年行っている宿泊体験学習でございまして、今年度は新型コロナウイルス感染症のため、この行事を中止いたしました。それに伴いまして、児童・生徒・教職員から食費、そして施設利用料を集金していたわけですが、それが無くなったということによります減額となっております。説明は以上でございます。

○**山口財政課長** 市債につきまして、この限度額のうちで、教育関係の市債がいくらかといったことについて、ただいま資料がありませんので、のちほどお示しさせていただきます。

きたいと思います。ちなみに市債の方はこういう公共施設等、あるいは改修とか新築とか、そういったものに起債が充てられるということで、限度額がいくらかということは、そのやる事業によって限度額というのは変わってきますので、特に今の段階で教育関係がいくら限度額だということではなくて、教育関係費に充てられる今年度の市債についてはのちほどそちらの方をお示しさせていただきたいと思います。

○**勝田委員** ありがとうございます。まず、宿泊学習は、これは1度集めたものをお返ししたということでしょうかということなのですが。

○**中山指導課長** こちらは中止ということになったことから、集金はしておりません。説明は以上でございます。

○**勝田委員** ありがとうございます。起債の方は、教育関係はのちほどということなのですが、全体の起債も、これはそれぞれですから、全体のボリュームとしていくらというのも一概には言えないということですよ。

○**山口財政課長** これは、あくまで限度額ということですので、ここまで起債をすることが可能だという金額でございますので、まだ、実際に起債はしておりません。これから財源なんかを考えながら起債をするということになると思います。

○**勝田委員** わかりました。ありがとうございます。

○**目黒委員** 53ページの17款のたのしむ茨城テレワーク移住促進事業補助金の何名分想定して。もし可能でありましたら内訳等をご説明いただけらたと思います。よろしくお願いします。

○**北島広報広聴課長** テレワーク移住キャンペーンにつきましては、来年1月27日から2月3日からの2回。それぞれ4日間でございますが、2回の開催を予定しております。1回につき5組。1組1名で、ご家族なども想定しまして最大4名までということですので、1回につき最大ですと20名の皆さん。5組20名の皆さん。2回ですので10組40名の皆さんが最大の参加となるということで考えてございます。

○**目黒委員** 現在、問い合わせ等はどのくらい来ておりますでしょうか。

○**北島広報広聴課長** 12月8日からの募集でございまして、昨日、おとといからということで、まだ、こちらに直接の問い合わせ等が入ってございません。催行会社がですね近畿日本ツーリストということで、都内の近畿日本ツーリストの店舗などでも募集などをかけていることから、そちらに問い合わせが入っているかもしれませんけれども、市役所の方には直接入っていない状況です。本日の新聞紙面などにも取り上げていただいておりますので、これから反響がくるものだと考えてございます。

○**目黒委員** ありがとうございます。あとその具体的な体験の内容とか最後に教えてください。

○**北島広報広聴課長** 4日間のテレワークの体験をしていただく期間中にですね、移住者交流会。先輩移住者によるスピーチとかですね、移住者から見た土浦の魅力紹介などの場も設けたりしたいと考えております。また、市職員による土浦のなんでも相談会。こういったものも予定してございます。また、サイクリング関係では、プチサイクリング体験であるとか、土浦駅周辺の施設の見学会。子育て施設の見学会なども、この4日

間のツアー期間中に体験していただけたらというようなプログラムも用意してございます。

○吉田（博）委員 予算決算委員会なので1つ提言というか、来年度の予算編成にあたっての提言をしたいんですが、先ほどから出ています宿泊体験学習。7年生のやつ。前市長の公約で15年ないし16年も続けてやっているといると思うのですが、ここですらね長年やっている事業に対してきちっと検証すべきではないかと思います。学校関係からもまた体験した子どもたち父兄からもとかいろいろな方法はあるとは思いますが、ここで1度大きな検証をしてよければさらにパワーアップしてやると。だめならばやめとかね。そういう判断をする時期であっていいんじゃないかという気がしますので、そこは、これは政策ですからね、あくまでもね。その辺をきちっと大検証をしていただければなというふうに強く思います。要望です。

○内田委員 ちょっと確認というか。初歩的なことになって、申し訳ないというような質問になるかと思いますが、財政基金のことです。財政調整基金のことです。要するに現在まで、57ページの24目で8億6,843万1,000円。これを財政調整基金として積んだということですね。それで、繰入金。54ページです。そのうち、財政5目で6億3,666万6,000円。この差額。1億7,000万くらいですか。くらいが財政調整基金が減った、使ったというふうな理解の仕方でもいいですね。

○山口財政課長 すいません。もう一度。大変申し訳ございません。

○内田委員 逆に言います。54ページ。繰入金。5目財政調整基金繰入金。今回補正3億9,000やって、6億3,600万使ったと。繰り入れたということですね。ということは、繰り入れたということは、財政調整基金が増えたということだな。

○山口財政課長 財政調整基金を取り崩した。

○内田委員 減ったということだな。そうすると今度はこちらは積んだというのがあるわけだよな。何ページだっけ。57ページか。57ページの24目。これは8億6,843万1,000円。これは積んだだよな。この差額だよな。

○山口財政課長 差額分が増えているということです。9月の補正予算の中で、こちら繰越金の2分の1ということで7億何某の金額を積んでいますので、大きい金額を積んでますので補正予算で取り崩しをしておりますが、今年度はまだ積んでいる金額の方が多いということでございます。

○内田委員 合計の差額だからな。減ったのがな。はい。わかりました。

○吉田（千）委員長 他にございますか。ありませんか。

○藤井教育総務課長 すいません。先ほど柏村委員からご質問いただきました特別教室のエアコンの設置数なんですが、小学校は42カ所。中学校は62カ所の計104室に設置するという予定でございます。

○吉田（千）委員長 他にございますか。ありませんか。

（「なし」という声あり。）

○吉田（千）委員長 質疑もないようでございますので、それでは、次回予算決算委員会までに報告書をまとめてまいりますので、12月16日水曜日午前10時30分に参

集願います。ご審議をいただきましてありがとうございました。これにて予算決算委員会を閉会いたします。